

The 7th AEARU Environmental Workshop

参加報告書 (Participation Report)

平成30年 3月24日

所属/ Affiliation : 工学研究科 博士前期過程

環境・エネルギー工学専攻

出張期間 (Period of trip)	2018/03/23~2018/03/25
開催期間 (Period of Program)	2018/03/24
開催場所 (Place)	Xijiao hotel, Haidian district, Beijing
開催規模 (Scale)	参加国数(Number of participating countries) 7 参加者数(Number of participants) 50
プログラムの 背景・目的 (Background and the objective of the meeting)	「Resource flow and environmental impact」というテーマに関連する研究を世界中の研究者とAEARUに所属する学生が、それぞれ発表を行い交流することを目的として開催されました。また様々な分野の研究を通して、環境問題に対し新しいイノベーティブな解決方法を考えるための機会として役割もプログラムの目的でした。
プログラム 内 容 (Program Contents)	発表者がそれぞれ 15 分程度発表をし、その後会場にいる参加者で質疑応答をするという形の形式で行われた。発表内容は幅広く、バイオマス発電やリサイクル、太陽光電池、水処理など幅広い視点で発表が行われた。
所 感 (Feedback on the Program)	<p>今回、国際会議で初めて発表であったが、自信を持って発表することができました。また、他の発表者の発表を拝見して、より分かりやすいプレゼンの仕方など学ぶことも多かったです。今回のワークショップは、さまざまな視点から環境問題に対する研究が紹介されたため、発表内容が人それぞれ大きく異なり新しい知見を得る機会にもなりました。</p> <p>参加して良かったと感じた点をいくつか挙げます。まず、短い時間ではありましたが、ホテルで共に滞在したルームメイトと研究や将来のことなど幅広く話せたこと。清華大学のキャンパスツアーをワークショップの翌日にし、大学の雰囲気や歴史を学べた点。また、優秀発表者(Award of Excellent Presenter)という賞もいただくことができ非常に嬉しかったです。</p>
	 